

科目名	音楽教育史	形態	講義	開講期	春学期
担当教員	柴田 篤志	単位	2	年次	2

＝授業科目の目標＝

日本の学校音楽教育の歴史を明治～昭和まで扱います。現状の音楽教育の在り方が、どのような歴史的必然ものであるかについて各自が考えるための材料を提供します。各々の教育的正義を確立する上で不可欠な「歴史観」を築くための基本を身につけます。

＝履修の条件と学習の方法＝

講義は一時間完結になります。必ずしも時系列に沿った順番になっていません。初回授業で配布する年表で、前後の出来事との脈絡を理解することを習慣として下さい。予習よりも復習の方が重要です。いわゆるペーパーテストではない試験を行うことで成績評価します。ただし持ち込みは可ですので、ノートをしっかりとっておく方が役立つでしょう。

＝授業内容＝

- 1回 音楽教育史（西洋）概論
- 2回 日本の音楽教育制度史（明治前期）
- 3回 日本の音楽教育制度史（明治後期）
- 4回 日本の音楽教育制度史（大正、昭和、平成）
- 5回 音楽教育カリキュラム史
- 6回 音楽教材（教科書）史
- 7回 高等教育における音楽科
- 8回 特殊教育における音楽科
- 9回 学習指導要領による音楽科（1）
- 10回 学習指導要領による音楽科（2）
- 11回 専門教育（音楽大学）の変遷
- 12回 女子教育としての音楽科
- 13回 メディアの発達と音楽科教育（1）
- 14回 メディアの発達と音楽科教育（2）
- 15回 音楽科教育上の重要人物（肖像と個人史）
- 16回 試験（持ち込み可）

＝成績評価の方法と評価の基準＝

第16回の授業で試験を行います。これを受けないと単位は認められません。ただし試験は持ち込み可です。持ち込み可でなければ解けないような問題が出ますので、単に暗記するのでは対応できません。学んだ内容を材料として考えることを求めます。

＝テキスト（必携）＝

特になし